

でんき 電気とわたしたち

なか でんき くらしの中の電気

なつ やす 夏休み。おもいっきり遊んで帰ってきたときに、冷蔵庫を開けると冷たい麦茶が……。とってもおいしいですね。冷蔵庫でさまざまなものが冷やせるのは、電気があるからです。でも、世界の国々には、電気のない暮らしをしている人たちもいます。今月は「電気」について、いっしょに考えましょう。

こんげつ 今月のテーマ でんき 電気とわたしたち	
じかんめ 1時間目	なか でんき くらしの中の電気
2時間目	電気のない村もある
3時間目	電気があると変わる生活
4時間目	ストップ! 電気のむだづかい

みなさん家では、どのくらい電気の力を必要とするものを使っているのでしょうか？

みんなさんは、電気がなくても生活できそうですか？ 「電気がないと、不便、大変！」 そう思った人も多いかもしれませんですね。

でも、たとえばアジアやアフリカなどの途上国の山あいや農村、町から遠くはなれた村では、今も電気のない生活をしている人が多くいます。来週からは、電気のない途上国の暮らしや、その理由について見ていきましょう。

考えてみよう でんき もしも電気が なかつたら……



このほかにも、家の中には電気を使うものがたくさんあります。学校では？ 病院では？ 道路や商店街では？ いろいろ探して、もしかしたらどんな不便があるかを考えてみましょう。



エリトリアからこんにちは！

わたしは、エリトリアからきたガブリエー・ディマムです（写真）。日本の学校や教育のしくみについて学ぶために、日本で研修を受けました。

わたしの国では、かつて戦争があったため、学校の建物はこわされ、多くの先生や児童の命がうばわれました。今、わたしたちはエリトリアの教育を立て直すために一生懸命いがんばっています。しかし、子どもたちはまだ木の下で授業をしていました。

日本のみなさんは、とても恵まれた環境にいます。学校も、教室もりっぱです。わたしは、日本の学校や子どもたちについて、エリトリアで子どもたちに話そうと思います。そして、エリトリアの子どもたちに、あなたたちのようにきちんと勉強するように話そうと思います。みなさんも、がんばってくださいね！



電気とわたしたち

電気のない村もある

前回は、自分たちのくらしをふり返って、「電気がないってどんな生活だろう?」ということを考えてみました。不便だなあ、電気がなかったらくらせないなあ……、みなさんそれぞれいろいろなことを考えたと思います。今回は、アフリカにある電気のない村をのぞいてみましょう。

今月のテーマ 電気とわたしたち	
1時間目	くらしの中の電気
2時間目	電気のない村もある
3時間目	電気があると変わる生活
4時間目	ストップ! 電気のむだづかい

水道を使うにも電気の力が必要

みなさんが水を飲みたいときは、蛇口をひねると水が出てきますね。しかし、蛇口から水が出てくるようにするために、電気が必要です。①の写真は、アフリカ・ナイジェリアのある村の写真です。この村のように電気がない場所では、生活や農業に必要な水は井戸からくみ上げています。昼間の間、何時間も水くみや水運びをしなくてはなりません。そうすると、子どもたちは学校に行けません。学校に行って勉強をしないと、大人になってよい仕事につくことも難しいのです。

発電所を造るにはたくさんのお金

また、電気のない村には、お医者さんもいません。もうからないからという理由が大きいのですが、都会の大学を卒業したお医者さんは電気のないような不便な村には住みたくないという人もいます。

では、なぜ電気が来ないのでしょうか? 電気は、大きな発電所でつくられ、電線で家や工場などへ運ばれてきます。村が発電所から遠いと、たくさんの電線が必要になりますが、途上国では国のすみずみまで張りめぐらすお金がありません。そのため、今でも、電気が来ていない村もあるのです。

太陽光パネルを日本が支援

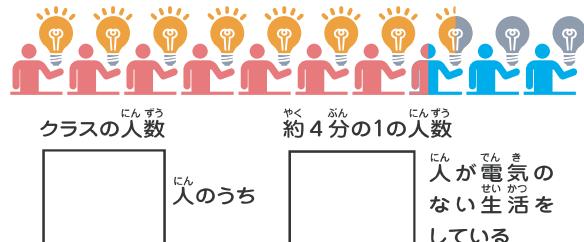
このような問題を解決するために、日本はアフリカの国々に太陽光パネルをおくったり、その使い方を教えていたり、といった支援をしています(写真②)。太陽光とは、太陽の光で電気をつくる装置です。これがあれば、大きな発電所を造らなくても、村に電気を届けることができます。



井戸から水をくむナイジェリアの子ども=写真是どちらも このパネルで、太陽の光をエネルギーに変えます
八千代エンジニアリング提供

計算してみよう

世界の人口は約66億人ですが、そのうち電気のない生活をしている人口は約16億人といわれています。つまり、約4人に1人が電気のない生活をしているのです。みなさんのクラスに当てはめると、およそ何人のクラスメートが電気のない生活をしていることになるでしょうか?



塩入りのお茶はいかが?

みなさんは日本の近くにあるモンゴルについてどのくらい知っていますか? 今回は、モンゴルの代表的な料理と飲み物の紹介をします。

日本ではご飯(米)が主食ですが、モンゴルではボーズという蒸しギョーザ(写真)とホーシュールという揚げギョーザが主食です。具は、羊肉を中心に、各家庭によってニンニクを入れたり、香草を入れたりします。

日本のギョーザの形とだいぶちがいますね。モンゴルのギョーザは、家庭によって味も形もさまざまです。

モンゴルの代表的な飲み物は、ステーツアイと呼ばれるミルク入りのお茶です。作り方はかんたん。番茶2リットルに対し、牛乳600ミリリットルを入れ、あとはお好みで塩を加えます。

お茶に塩を入れる習慣のない日本人には、はじめは慣れない味かもしれません、一度みんなで試してみてください。



電気とわたしたち

電気があると変わる生活

前回までは、電気のない生活について考えました。今回は、電気のない生活からある生活に変わったら、どのようなことが起きるのか、なにができるようになるのかを見てみましょう。

今月のテーマ 電気とわたしたち	
1時間目	くらしの中の電気
2時間目	電気のない村もある
3時間目	電気があると変わる生活
4時間目	ストップ! 電気のむだづかい

電気が来ると、くらしはどのように変わるのでしょうか？ 下の「結んでみよう」をやってみましょう。

アフリカやアジアなどの途上国では、ほかにもくらしがよりよくなつた例がたくさんあります。

ある村の病院では、電気のおかげで夜も急病の患者さんを受け入れられるようになりました。

また、ワクチンなど冷やして保存しなければいけない薬も、冷蔵庫を置くことによって保管できるようになりました。

貧しい村でも、村のみんなが協力して病院や学校、教会など、みんなで使う場所で電気を使えるようにすれば、一つ一つの家に電気はなくとも村の生活をよくすることができます。村に街灯をつけることもそのひとつです。街灯によつて、夜サソリやヘビから身を守りながら外出できるようになった村もあります。

最後に、下の計算問題をやってみましょう。

計算してみよう

ラオスのサバナケット村には電気が来ていませんでしたが、最近太陽光パネルを使って発電ができるようになりました。村に住むポンさんは、織物を1枚50円で売っています。電気が来る前は、1週間で9枚しか織ることができませんでしたが、電気が来てからは、夜も織物を織ることができるようになりました。さて、ポンさんの1週間の収入はいくら増えたか計算してみましょう。

1週間にかかる収入
2-A、3-C
1-B、2-E
E収入の計算式

結んでみよう



写真は1はナイジエリアで(八千代エンジニアリング提供)、2と3はラオスで(アロアクタインター・ナショナル提供)

もんだい問題 上の1~3の写真は、電気があることで大きく変わった生活をしめしています。下のA~Cの内容とあっていると思うものを、線で結んでみましょう。

1の写真

A 携帯電話は、電波が届く場所であればわざかな電気で使えます。ある村で携帯電話を使い始めたところ、町でどんな農作物が売れているかなどの情報を聞きながら出荷できるようになりました。農作物のむだがなくなり、収入を増やすチャンスができました。

2の写真

B 太陽光パネルで昼間に作った電気をバッテリーにためておき、夜も学校に電気で勉強できるようになりました。

3の写真

C 電気のおかげで夜も働くようになった人たち。はたおりなどの内職をしたり食堂を開いたりできるようになりました、収入が増えた家もありました。

みんなのひろば



ホンジュラスで育んだ先生同士の友情

今回は、青年海外協力隊として、一九九八年まで二年間、南アメリカのホンジュラスに行っていた千葉寿子さん(写真、後列右から二人目)の報告です。

わたしは、コマヤグア県というところで小学校の先生に算数を教えていました。この国では、教科書や教材が足りないことが原因で、先生たちが魅力的な授業をする方法を学ぶ機会がかぎられています。

主に週末や長い休みに先生たちを集めてセミナーを開き、そこに参加してくれた先生の学校に訪問しました。初めは「行くからね」と約束した人でさえ一時間遅れてやっと数人来るという状況でしたが、だんだんセミナーに出てみたいといふ希望が高まっています。意欲的な先生たちばかり。日本より物が豊かではないけれど、お金で買えない幸せをいっぱい味わうことができました。

今は日本の小学校で、ホンジュラスや世界の国々について学ぶ授業や募金活動などをしています。「日本では当たり前だと思っていることが、世界ではそうではないこと」を伝えたいと思っています。

電気とわたしたち

ストップ！ 電気のむだづかい
生活に「うるおい」与える電気
たくさんの電気を使っているわたしたち日本人。少ない電気
を大切に使う途上国のくらしに学ぶ点はたくさんあります。

今月のテーマ 電気とわたしたち	
1時間目	くらしの中の電気
2時間目	電気のない村もある
3時間目	電気があると変わる生活
4時間目	ストップ！ 電気のむだづかい



人々のくらしを豊かにする電気=ベトナムで
(プロアクションナー・ナショナル提供)

みんなの家でも、使わない部屋の電気はこまめに消したり、クーラーの温度設定をあまり低くしないようにしたりしているのではないでしょうか。電気製品を買うときには、省エネタイプにしようということも聞いたことがあるかもしれません。

はなはな
話し合おう

みんなの家のや学校では、電気のむだづかいをなくすために、どんなことをしていますか？ また、どんなことならできそうですか？ おうちの人や友だちと話し合ってみましょう。

とじょうごく まな
途上国のかくらしに学ぼう

電気が来たことによって豊かな生活をしようと知恵を働かせている途上国の人たちと同じように、電気のむだづかいをしないためにどんなことができるかを考える力を人間は持っています。

みなさんも家族や友だちとできることについて話し合ったり、調べてみたりしてください。一人ひとりの取り組みが、世界中の電気のむだづかいを減らすことにつながります。

また、前々回のこのコーナーで学んだように、世界の人口の四分の一が電気のない生活をしています。このことを覚えておくことも、大切なことです。



太陽光発電で村に街灯がつきました॥アフリカのナイジニアリアで（八千代エンジニアリング提供）

みんなのひろば



世界陸上に日本人指導のジブチ選手団

2007年8月25日から大阪で開催される世界陸上選手権。アフリカのジブチからは、男女二人の選手が出場します。出場種目は男子八百メートルと女子百メートル。二人とも青年海外協力隊員の渡辺森彦さん（写真 左から二人目）が指導する選手で、渡辺さんもコーチとして参加します。

ジブチは年間を通じて気温が高く、五月～十月は四〇度を超えます。その上シューズがなく素足で練習する選手も多いです。きびしい環境でトレーニングにはげむ選手を指導する渡辺さんは「世界陸上には世界トップクラスのレベルの選手が集まる。今までにない舞台で思い切り走ってほしい」と言います。「決勝まで進むのは難しいかもしれませんのが、世界のレベルを肌で感じ、トップクラスの走りや競技にのぞむ姿勢など、体験したことをジブチに持って帰ってほしい」今年の世界陸上は、日本人が指導するジブチの選手にもぜひ注目してください。

出動！国際緊急援助隊

どんな仕事があるの？

みなさんは、JICAが地震や津波などの災害にあった世界の人たちを助けるために、国際緊急援助隊（JDR）を送っていることを知っていますか？ 四回シリーズで仕事の内容をくわしく紹介します。

8月、9月のテーマ 出動！国際緊急援助隊	
じかんめ 1時間目	どんな仕事があるの？
2時間目	準備完了、さあ出発！
3時間目	隊員の持ち物見せて！
4時間目	スマトラ沖大地震・インド洋津波

世界の国で助け合い

地震や水害が多い日本は、災害に対する経験があります。その経験を災害にあって困っている世界の人たちのために役立てています。日本で大きな災害があったときは、世界の国々から、お見舞いや救援物資が届けられました。このように世界の国々は助け合っているのです。

どんな人が派遣されるの？

被災地に派遣される国際緊急援助隊には、主に次の四つのチームがあります。

救助チーム

地震でこわれた建物などに閉じこめられた人たちを助けます。警察、消防、海上保安庁の救助を専門にする人たちが送られます（写真1）。

医療チーム

地震や洪水でがした人や病気になった人を治療し、病気が広がるのを防ぎます。医師、看護師、技師らがボランティアとして登録。災害が起こったときに派遣されます（写真2）。

専門家チーム

火山噴火や地震でこわれやすい建物の調査など、専門的な仕事を担当。地震、建築、病気の専門家に当たる専門家が、お願いし、被災地に派遣します（写真3）。

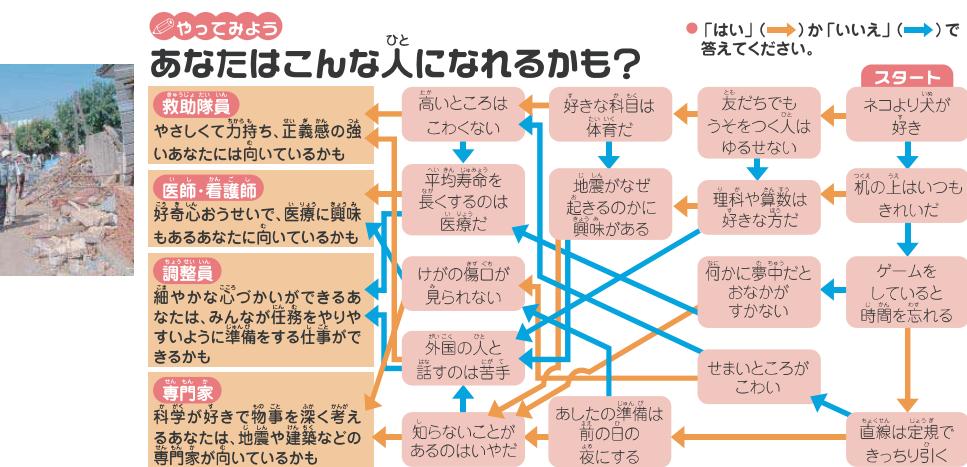
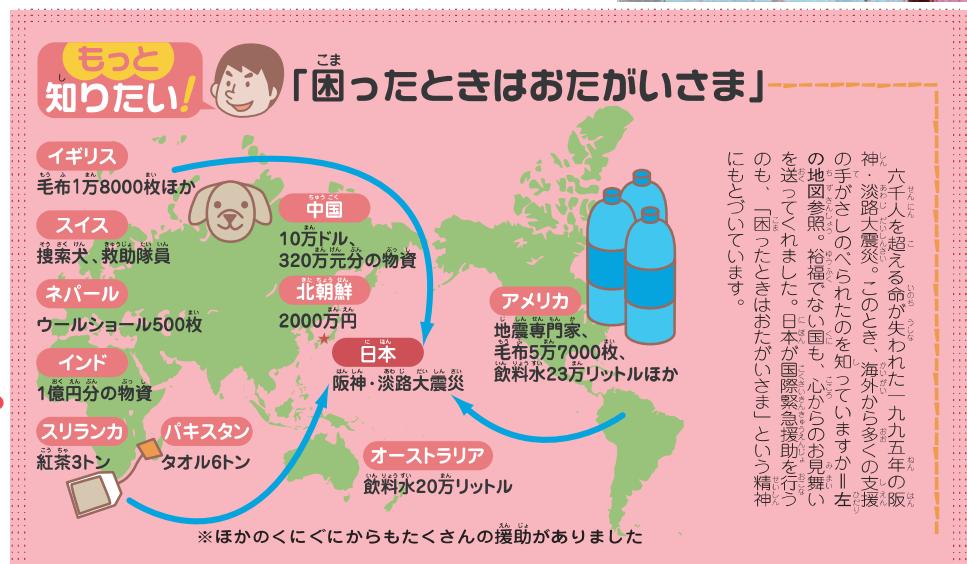
自衛隊部隊

災害による被害が特別に大きいときは、自衛隊が送られることもあります。

被災地への援助ほかにもいろいろ
国際緊急援助隊は被災地に人々を送っているほか、テント、毛布などの物を送る仕事をしています。そのほか日本は、災害にあった国にお金を送ったり、学校や病院を建て直す協力をしています。



写真1 地震で倒れた建物で救助（1999年台湾地震）、写真2 けが人を手当て（2004年スマトラ沖大地震、インドネシアで）、写真3 被災地を調べる専門家（2003年アルジエリア地震）



出動！国際緊急援助隊

準備完了、さあ出発！

大きな災害があったとき、国際緊急援助隊は、少しでも早く被災地にかけつける必要があります。隊員はどのように集められて、どんな活動をするのでしょうか。みなさんも国際緊急援助隊のメンバーになったつもりで、いっしょに考えましょう。

8月、9月のテーマ 出動！国際緊急援助隊		
1時間目	どんな仕事があるの？	
2時間目	準備完了、さあ出発！	
3時間目	隊員の持ち物見せて！	
4時間目	スマトラ沖大地震・インド洋津波	

A国で地震が発生しました。緊急援助隊の出発から帰国まで、Q1～5の質問に答えながら、考えてみましょう。

1日目：被災地に到着。A国の政府にたのまれて、道路にまで患者があふれている病院の前で活動することになりました。小学校や公民館で活動することもあります。

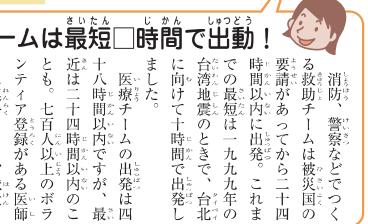
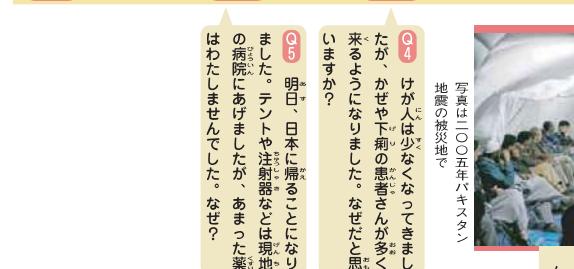
○参考でみよう

きみも緊急援助隊！



●帰国 13日目 8日目 6日目 2日目 1日目

●帰国 13日目 8日目 6日目 2日目 1日目



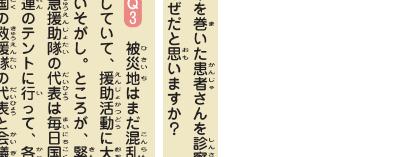
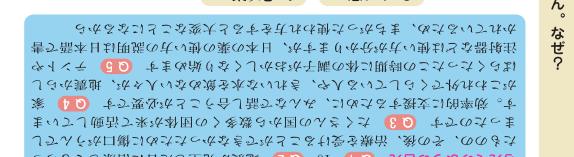
Q5 明日、日本に帰ることになりました。テントや注射器などは現地の病院にあげましたが、あつた薬はわざいませんでした。なぜ？

Q4 けが人は少なくなってきましたが、かぜや下痢の患者さんが多く来るようになりました。なぜだと思いませんか？

Q3 被災地はまだ混乱しているので、救援活動に大変な思いをさせています。なぜ？

Q2 いよいよ診療開始です。包帯を巻いた患者さんを診ますと、傷口がうんていました。なぜだと思いますか？

Q1 上の□に当てはまる数字を入れましょう。



帰国：医療チームは、A国に診察した人数やこれから必要になる医療の支援などについてアドバイスした報告書を提出して、日本に帰ります。引き続き支援が必要なときは、第二陣が派遣されます。

もっと知りたい！

こくさいきんきゅうえんじょ 国際緊急援助のルールは？

海外で災害が起きたら、相手の国に確認せずにすぐにかけつける。これはよいことでしょうか？

一九八八年に、旧ソ連のアルメニアで二万人以上が亡くなる大地震が起きたとき、各国の支援チームがアルメニアに確認せずにかけつけました。

その結果、災害で混乱したアルメニア政府がさらに混乱してしまい、被災者への支援がおくれてしまいました。また、どこかの国の救援チームが捜索した場所を、ほかの国がまだ探すなどのむだも出てしまいました。「救うべき命が救えなかった」という反省から、今は世界の国々がきちんと連絡を取り合い、協力するようになります。国際緊急援助隊も、被災した国からの「助けてほしい」というお願いを受けてから派遣されているのです。

しゅつどう 出動！ 国際緊急援助隊

たいいん も ものみ
隊員の持ち物見せて！

ひ さい ち こく さい きん きゅう えん じょ たい
被災地にかけつける国際緊急援助隊は、どんなものを持って
いくのでしょうか。今回は、隊員の持ち物を見てみましょう。

1時間目	どんな仕事があるの？
2時間目	準備完了、さあ出発！
3時間目	隊員の持ち物見せて！
4時間目	スマトラ沖大地震・インド洋津波

命を救う大切な道具

きんきゅうえんじょたい
緊急援助隊は、チームによって持っていくものがちがいます。救助チームは
たおれた建物などに閉じこめられた人を、探して助け出すための道具をたくさん
持っていきます。例えば、ファイバースコープという小型カメラ。せまいところ
にさしこんで中のようすを写すことができます。また、コンクリートをこわす
機械やスコップなども必要です。テントや食料、水などと合わせると、五~七
トンの荷物になります。

いちばん大きな荷物は？

いりょう に もつ くすり いりょう きく しんりょうよう
医療チームの荷物は、薬、医療器具、レントゲンなどのほか、診療用テン
トや食料、水などを合わせ、二トンほどになります。ホテルがこわれてしまっ
ている場合に備えて、生活用のテントや機材も持っていく場合は、四トン以上
になることもあります。

せん ちん か ざん
専門家チームが持っていくものは、仕事によってさまざまです。地震や火山の
専門家チームの場合は地震計などを持っています。

きんきゅうえんじょたい
緊急援助隊がこれまでに持っていた中でもっとも大きい荷物の一つは、ヘリ
コプター。森林火災の消火や、海で遭難した人を探すために使いました。

食 料 だ つて 忘れ ず に

げん ち か づ く げん ち ひと ひ と めい わく
現地ですばやく活動し、また現地の人々に迷惑をかけないために、緊急援助
隊は最低三日分の非常食を持っていきます。お湯や水をくわえるだけすぐに食
べられるアルファ米や缶詰、固形みそ汁などです。

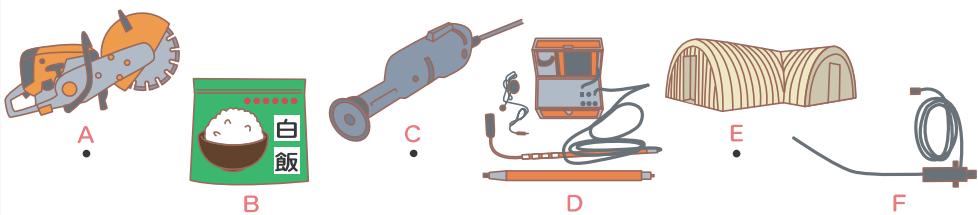
ひ さ い ち しょく りょう て は い
被災地でも食料が手に入るようになったら、現地の食べ物もとります。ただし、おなかをこわさないように、かならず火
を通したものを食べるようになっています。また、水はミネラルウォーターを飲みます。おなかをこわしてしまっては、何のた
めに活動しにいったのか分からなくなるからです。



食べ物にはかならず火を通して

結んでみよう

した 下のA～Fのイラストは、どれも緊急援助隊の道具です。どんな名前でどのような使い
方をするのかア～カから選び、線で結びましょう。



ルーフ
リーフ
ギロード
ギロード
エーデ
エーデ
アーヴ

ギブスカッタ
ー 骨折した
人にまかれた
ギブスを切る
機械。国際緊
急救援隊には
最近導入され
ました

ファイバース
cope 小型
カメラがつい
た検索機材。
自由自在に曲
がるので、せ
まいところに
も入ります

エンジンカッ
ター コンク
リートの壁や
鉄のドアを切
る機械。救助
チームが使い
ます

アルファ米
緊急救援隊の
非常食。家庭
でも非常袋に
入れておくと
便利

ボーカメ
端にカメラが
ついた検索機
材。相手の声
が聞け、自分
の声も伝えら
れます

十字テント
空気でふくら
むテント。救
援室や災害対
策本部用とし
て使います

緊急のこだわり

出動！国際緊急援助隊

スマトラ沖大地震・インド洋津波

2004年、インドネシアのスマトラ沖で大きな地震があったのを覚えていますか？沿岸の国々に津波がおしよせ、多くの命が失われました。このときも、国際緊急援助隊は被災地に向けて出動しました。

1時間目	どんな仕事があるの？
2時間目	準備完了、さあ出発！
3時間目	隊員の持ち物見せて！
4時間目	スマトラ沖大地震・インド洋津波

地震発生そのとき日本では

二〇〇四年十二月二十六日午前、インドネシアのスマトラ沖で、マグニチュード(M)9というとても大きな地震が起き、地震による大津波が発生しました。東京にある国際緊急援助隊事務局ではただちに現地の事務所やインターネットなどから被害の情報を集めました。最終的に二十二万人を超える死者・行方不明者が出て大災害です。地震直後のこの時点でも相当な被害が予想されました。その日の夕方には、まずスリランカへ医療チームが派遣されることが決まりました。

各国から続々と支援要請

その後、被害を受けた各国から支援の要請が日本政府に届きました。インドネシア、モルディブ、タイにも医療チーム、救助チームの隊員が向かいました。さらに家族や家を失った人々に心のケアをする専門家チーム、医療活動を行なう自衛隊部隊も派遣。計約千九百人の日本人が現地で活動しました。

約百四十人の医療チーム

医療チームは四ヵ国で約百四十人の医師や看護師が、地震や津波で生活で体調が悪くなったりした人たちを診察。四つの国で診療した患者は、約六千七百人にのぼりました。



国際緊急援助隊の活動のようす
左上から右下へ
①スリランカ（医療チーム）
②モルディブ（医療チーム）
③タイ（救助チーム）
④インドネシア（救助チーム）
⑤スマトラ島（医療チーム）
⑥スマトラ島（救助チーム）



世界中で困っている人を助けたい



国際緊急援助隊の医療チームには、ボランティア登録をしているお医者さん、看護師さん、医療関係者が七百人以上います。福岡県のお医者さん、「富岡譲治さんも、ボランティア登録をしている一人。海外で災害が起ると、被災者のもとにかけつけます。これまでに、国際緊急援助隊のメンバーとしてマレーシアやエルサルバドル、アルジェリア、インドネシアで活動しました。富岡先生は小学生だった一九六八年、九州南部をおそったえびの地震で被災。このときの経験がきっかけで、海外の被災者に手をさしのべたいと思ったそうです。「世界中どこでも、どんな状況でも、困った人を助けたい。いつもそう思っています」と富岡先生は話しています。

食卓から世界を考える

世界のごちそうなあに？

今月は、世界の食と農業について紹介します。世界にはさまざまな食べ物があり、子どもたちの好きな食べ物もいろいろ。今週は、世界の食べ物を見ていきましょう。

今月のテーマ 食卓から世界を考える	
じかんめ 1時間目	せかい 世界のごちそうなあに？
2時間目	ベトナムの農村生活を見てみよう！
3時間目	農業もいろいろ
4時間目	世界が支える日本の食卓



お父さんとお母さんは仕事で出ているから、昼ごはんはおばあちゃんといつしょ。ごはん作りはぼくの係。主食のシマはトウモロコシを細かく刻んで、水を足すだけだから簡単だ。みんなもチャレンジしてみてね！



米をたくさん消費する国で、羊の肉をのせたマトンビリヤンはお祝いの日はお姑ちゃんの手で作られることが多いんだよ。ふだん廷料理なんだよ。ただ、この日はお姑ちゃんの結婚式だったから特別なでワイワイ食べられておいしかったな。

調べてみよう①

上の地図の①～④のうち、ベトナム、マラウイ、パラグアイ、バングラデシュはどこか調べてみましょう。

調べてみよう②

今回紹介した食べ物は、どれも基本的にその国でとれた穀物や原料を使って料理しています。みなさんの好きな料理は何ですか？ 産地はどこでしょう？ また、どのように調理したものでしょう？



ベトナム

米粉から作ったブンというめんを焼き肉入りのスープにつけて食べます。ブンチャは、家ではあまり作らず、もっぱら屋台で食べるのよ。お店によって味も個性豊かな。

チッパ

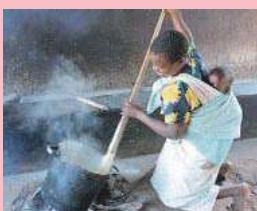


パラグアイ

チッパは、キヤッサバというイモとトウモロコシの粉を使った、チーズ風味のパン。日常のおやつとして、家庭で作ります。材料の配合がこねぐあい、焼きかけて味が変わってくるんだよ。やっぱりうちのママのチッパが一番！



マラウイのシマを作ってみよう



上のコーナーで紹介したマラウイのシマを作ってみましょう。ケニアなど東アフリカではウガリとも呼ばれていて、トウモロコシの粉で作る現地の主食です。トウモロコシの粉は日本では、大きな食料品店やインターネットの通信販売などで手に入ります。

材料（3人分） 水1500ミリリットル トウモロコシの粉300グラム

作り方

- なべに水を入れふつとうしない程度に温め、トウモロコシの粉を3分の2加えて、中火で木べらでかきませる（上の写真）。家庭にある大きさの木べらで大丈夫。
 - 粉っぽくなったら、残りのトウモロコシの粉を混ぜ合わせる。ねばり気が出て、水気がなくなったらできあがり。
 - ちょうどいい大きさにしてもりつける。冷めると固まってしまうので、熱いうちにもりつける。シマは手で食べるので、食前に手をしっかり洗ってね。
- シマは味がうすいので、塩味の濃いおかずを選ぶといいでしよう。肉や魚をキャベツやトマトなどの野菜といっしょにいためてもおいしいです（下の写真は鶏肉を調理しているところ）。ほかにも、世界各国のさまざまなレシピがウェブサイト「e-food」(<http://e-food.jp/recipe/>)に紹介されています。いろいろな料理にチャレンジしてみましょう。



食卓から世界を考える

ベトナムの農村生活を見てみよう！

今週は、前回紹介した「ブンチャ」というめん料理を食べているベトナムの農村のくらしを見てみましょう。

今月のテーマ
食卓から世界を考える

1時間目	世界のごちそうなあに？
2時間目	ベトナムの農村生活を見てみよう！
3時間目	農業もいろいろ
4時間目	世界が支える日本の食卓

家族みんなで助け合い

学校は、午前と午後に分かれていて、坊ちゃんお兄さんは午前の部に、弟は午後の部に通っています。

●**考えてみよう②**
日本とちがって、ベトナムの学校はどうして午前と午後に分かれているのかな？



ここは村のそばにある青空市場です。いろいろな食べ物が売られていますね。

●**考えてみよう③**
お母さんは、毎日のように市場に行きますが、何をしているのかな？（ヒント：買い物ではないよ）



おうち



たんぼ



10歳の坊ちゃんは、ベトナムの首都ハノイから車で3時間ほど離れた村に住んでいます。家族は、両親、祖父母にお兄さんと弟、生まれたばかりの妹です。いそがしいお母さんにかわって、坊ちゃんは妹の子守をします。



にわ



お父さんは、水牛で田んぼをたがやしています。ベトナムでは、日本と同じように米が主な農産物ですが、ほかにも畑でキャベツやスイカをつくっています。田植えや稲刈りの時期は、坊ちゃんをはじめ家族全員が田んぼで作業します。

坊ちゃんのおうちでは、牛を飼っています。お母さんが朝夕にお乳をしぼり、生乳の収集所に持っていきます。牛舎のとなりには池があり、お魚も飼っています。

●**考えてみよう④**

なぜ牛舎のとなりに、池があるのかな？よく見ると、牛舎から池に向かって牛の粪尿が流されているよ。

もっと
知りたい！

ふさく せいかつまも ちえ 不作でも生活守る知恵

農家のひとたちは、田んぼや畠でできたものを売って、くらしを立てています。サラリーマンの場合は、毎月お給料をもらえるけれど、農家のひとたちは、台風や水不足で米や野菜が育たないこともあります。

日本の農家の場合は、「共済」といって、こういうときに備えてみんなでお金で積み立てるなどして助け合うしくみがあります。でも、途上国にはこうしたしくみがありません。そのため、農家では、家畜や魚を飼ったり、竹細工でかごを作ったりして、売るものの種類を増やしています。こうすれば、台風や水不足でも、一度にすべてがなくならずに、どれかが残るのであります。

食卓から世界を考える

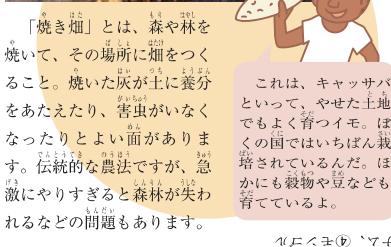
農業もいろいろ

世界には、土地や気候に合わせて、いろいろな農業が営まれています。どのような特徴があるのか、のぞいてみましょう。

今月のテーマ
食卓から世界を考える

1時間目	世界のごちそうなあに?
2時間目	ベトナムの農村生活を見てみよう!
3時間目	農業もいろいろ
4時間目	世界が支える日本の食卓

くらしにあわせて土地利用



モンゴルの遊牧

モンゴルの雨が少なく作物がよく育たない地域では、家畜を飼って草を食べさせて、草原を有効に利用します。これを「遊牧」といいます。

夏は牛や羊に草をたくさん食べさせて太らせるよ。冬のあいだは別の場所にうつり住んで、また次の夏に草が生えそろうままで待つんだ。だからぼくの家はおいたみ式のテントだよ。

これは、キャッサバといって、やせた土地でもよく育つイモ。多くの国ではいちばん栽培されているんだ。ほかにも穀物や豆なども育てているよ。

バエベヨ(マニコケ)・ムスカホ(マニコケ)・ニタキヤ(マニコケ)



メキシコでさかんなのは、比較的水の少ない地域でも育つトウモロコシの栽培です。トウモロコシは米、麦と並んで世界三大作物の1つといわれています。

トウモロコシの粉からつくったタコスやシリアルは、世界中で人気の食べ物だね。ぼくたちの国では、何千年前も前のマヤ文明のころからトウモロコシを育てて、神聖な食べ物として大切にしてきたんだ。



小さな田んぼがたくさんあるので、あぜ道づくりや草かりは大変! 棚田をのぼったりおりたりするから、かけっこ得意よ。

ベトナムは、世界有数の米の生産国。北部には、山がちな地形を利用で棚田が多く見られます。土地の高低差や気温差を利用して、時期をずらして稻を育てます。水田を整備するなどの農作業には、水牛の力がたりります。

調べてみよう①
上の地図①~④のうち、メキシコ、モンゴル、ベトナム、ザンビアはどうここ調べてみましょう。

調べてみよう②
あなたの家の近くでは、どんな農業が行われていますか?

みんなのひろば



おおだん か ぼうし

温暖化防止など、いっしょに考えよう

かんが

国際協力の日にちなんで二〇〇七年十月六日、七日に東京・日比谷公園(千代田区)で行われた「グローバルフェスタジャパン二〇〇七」。会場には、子どもから大人まで約八万人が集まり、国際協力をについて理解を深めました。

スタンプラリーには、たくさんの小学生が参加。地球の環境に関するクイズを楽しみました。京都都市の古沢奈津実さん(五年)は、フェスタに合わせて募集中した「わたしたちにできること」をテーマに作文を書いてくれました。奈津実さんはごみの問題を心配し、「知らないものは買わない」「スーパーでもらうレジ袋をリサイクルする」などのアイデアを出し、「一人ひとりがごみ問題について考えなければいけない」と考えます。

みんなが住む地球のこと、どのくらい知っているかな? 一人の力は小さいかもしれないけれど、家族、友だちや先生といっしょに行動を起こせば、きっときれいですてきな地球になるはずだよね。

食卓から世界を考える

世界が支える日本の食卓

食べ物を自分の国で作っている割合を食料自給率といいます。日本の食料自給率は40%（食料にふくまれるカロリーをもとに計算）。野菜、肉、果物など、半分以上が外国から輸入されています。その中には、これまで見てきた途上国から輸入されている食べ物もたくさんあります。どんな食べ物がどの国から来ているか見てみましょう。

今月のテーマ 食卓から世界を考える	
1時間目	世界のごちそうなあに？
2時間目	ベトナムの農村生活を見てみよう！
3時間目	農業もいろいろ
4時間目	世界が支える日本の食卓

食べ物はどこから来るの？



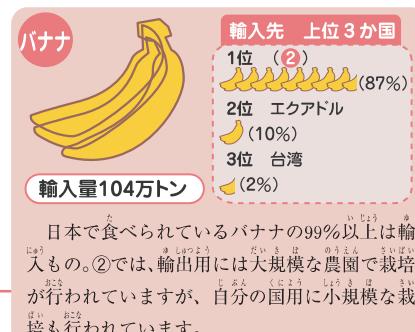
日本は世界最大の水産物輸入国。中でもタコはほとんど輸入にたよっています。モーリタニアは西アフリカにある砂漠の国。日本への輸出品の99%以上はタコです。



そばの自給率は21%。エビ、しょうゆ、ネギなどでつくる天ぷらそばの自給率は20%。しょうゆは日本産でも原料の大豆は輸入されているなど、原料までたどると輸入ものという食材も多いからです。



最も多く輸入している水産物の1つが③です。日本人は1年に平均70匹の③を食べているそうです。ベトナムを始めとした国では、水田やマングローブ林などを③の養殖池にかかる農家もあります。



日本で食べられているバナナの99%以上は輸入もの。②では、輸出用には大規模な農園で栽培が行われていますが、自分の国用に小規模な栽培も行われています。



日本は世界第3位の④の輸入国。朝ごはんなどでおなじみの飲み物。上位3か国のほか、赤道に近い④ベルトと呼ばれる暑い地域でほとんどが生産されます。



食べ残す日本、栄養不足の途上国も

上の図を見ると、わたしたちの食べ物の多くを外国にたよっていることがわかりますね。一方で、日本では食べられずに捨てられていく食べ物も多くなっています。家庭の台所から出るごみの四割近くは、食べ残したという報告もあります。

それなのに、多くの国の人たちが栄養不足で苦しんでいます。世界では約八億人が栄養不足といわれています。世界の人口は六十億人を超えて、必要な食料はこれからも増え続けますが、世界で農業ができる土地はこれ以上増やせないと予想もあります。このままだと将来、世界中で食べ物が足りなくなってしまうかもしれません。

こんな状況に対して、わたしたちができることは何でしょう？ きょうの給食は全部食べましたか？ 冷蔵庫の中になかなか入らない食べ物とその消費期限を知っていますか？ 食品を上手に保存していますか？ 身近なことからできることを考え、話し合ってみましょう。

みなみたいへいよう みりょく はっけん アジア・南太平洋の魅力を発見!

はなし ゆうぼくみん そうげん しゅと モンゴルのお話～遊牧民も草原から首都へ～

せかい くにぐに す ひかく てき ちか
世界の国々のうち、わたしたちの住む日本に比較的近いのが
みなみ たいへい よう くにぐに こん げつ ち いき たび
アジアや南太平洋の国々。今月は、この地域をいっしょに旅し
だい かい だい そう げん くに
ましょう。第一回は、大草原の国モンゴルです。

じかんめ 1時間目	はなし モンゴルのお話
2時間目	トンガのお話
3時間目	グルジアのお話
4時間目	カザフスタンのお話



?おもしろクイズ

Q1 モンゴルではポテトサラダのことを、ある別名で呼びます。その名前とは？

- ①チングスハンサラダ
- ②ロシアサラダ
- ③首都サラダ

Q2 モンゴルでは、赤ちゃんが生まれた日にちなんで、めずらしい名前をつけます。その名前とは？

- ①8月ちゃん
- ②日曜日ちゃん
- ③午前11時ちゃん

にんき たか 人気が高い日本のテレビ

首都ウランバートルは、約百万人が住む政治経済の中心地。高いビルや工場があり、車もたくさん走っています。日本のテレビ番組も放送されています。大相撲はもちろん、アニメ「NARUTO」なども子どもたちに人気です。

移動式おうちで地方から引っ越し

街の中心から、郊外へ自に向けてみましょう。左の写真的白いテントのように見えるのは、伝統的な移動式住居「ゲル」です。

ゲルは草原に住む遊牧民の家ですが、最近は大都市の近くにもたくさんあります。それは仕事や子どものよりよい教育環境などを求めて、人々が首都に移り住んでいるからです。一九九九年から数年続けて大雪が降り、モンゴル全土が記録的な寒さにおそれました。このとき、遊牧民の飼っている馬など多くの家畜が死んだことなども影響しています。

大都市の郊外では急速にゲルが増え、水道やトイレの整備がまにあいません。近くの水タンクまで水くみのお手伝いをしている子もたくさんいます。

子どもたちの学校は？

モンゴルは、教育をとても大切にしています。大都市のゲルが集まる地区にも学校があります。ほとんどの学校では教室が不足しているために、全校児童がいつしょに授業を受けることができません。午前、午後、夕方に児童を入れ替えて授業をするなどくふうをしています。中には、廊下でも授業をしている学校もあります。日本も新しい校舎を建てたり、飲み水を配る施設を造ったりといろいろなお手伝いをしています。



モンゴルの小学校
(牧野希さん提供)

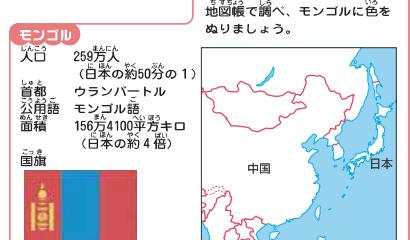
もっと 知りたい！



おお ず もう に でんとう す もう 大相撲と似ている伝統のモンゴル相撲

九州場所で東の正横綱についた白鵬のふるさとモンゴルには、日本の相撲によく似た伝統的なスポーツ「モンゴル相撲」があります。相撲の土俵入りのように、勝負の前後に儀式があるところも似ています。

横綱、大関にあたる位を、モンゴルではライオンやタカといった強い動物の名前で表します。土俵がないので、投げ技や足技で相手を地面に倒して初めて勝負ができます。そのため、かたんには技が決まりません。勝負が長引くことも少なくありません。短い柔道着のような胴着と、パンツやはかま、そして長靴を身につけます。どれもじょうぶな布や革でできています。取組は相手の胴着のそそや胸元、またはパンツの横をつかみ合うところから始まります。呼吸をはかって、相手の体勢をくずします。足をかけたり、腕をつかんで投げる技もあるので、柔道やレスリングにも少し似ているかもしれません。



みなみたいへいよう みりょく はっけん アジア・南太平洋の魅力を発見!

はなし はら げんき あそ こ
トンガのお話～原っぱで元気に遊ぶ子どもたち～
こんかい たいへい よう しまくに
今回は、太平洋のまんなかにある島国トンガのくらしをのぞ
からだ おお おお し
いてみましょう。とても体が大きい人たちが多いことでも知
れています。

今月のテーマ
みなみたいへいよう みりょく はっけん
アジア・南太平洋の魅力を発見!

1時間目	モンゴルのお話
2時間目	トンガのお話
3時間目	グルジアのお話
4時間目	カザフスタンのお話



うみ かこ きれいな海に囲まれて

トンガは、オーストラリアの東にうかぶ百五十以上の島々からなる王国です。亜熱帯の気候で一年中暖かく、青くきれいな海に囲まれています。

この国はとても体が大きくて力が強い人が多いことで有名です。三千年以上前に遠くアジアの方から海をわたってきた祖先たちが、きびしい航海にたえられるたくましい体をしていましたからとも伝えられています。

相撲、ラグビースポーツ王国

たとえば、大相撲の元横綱・武蔵丸親方。アメリカのハワイ生まれですが、お父さんたちはトンガの出身です。現在、ハーパイ諸島の警察署長のアラニさんも、かつて日本で力士として活躍していました。アラニさんは引退後にトンガで相撲を教え、アマチュアの世界相撲選手権大会で入賞するほどの選手を育てています。

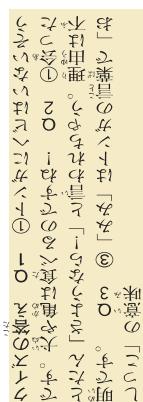
また、ラグビー選手も日本では有名。日本代表チームにトンガ出身の選手がいます。高校、大学、社会人のチームでも百人近くの選手が活躍しているそうです。

エアロビクスでランナー！

トンガの人の食生活は、最近急速に変わっています。かつては豊かな海産物やタロイモが主な食べ物でしたが、今では外国からの輸入品も多くあります。肉類やバター、砂糖などの消費が増え、肥満が社会問題になっています。ダイエットと健康のために運動を始める人が増えました。エアロビクスを教える日本人のボランティアもあります。

さが 探してみよう

地図帳で探して、トンガに色をぬりましょう。



？おもしろクイズ

Q1 次の3つのうち、トンガの人が食べないものは？
①ヘビ ②犬 ③亀

Q2 トンガの人に道で会いました。何と言ってあいさつするでしょう？
①さようなら！
②最近、調子どうよ？
③ご飯、食べた？

Q3 トンガの人方が聞いたら笑ってしまう日本語は？
①頭 ②口 ③耳

夕方になると少しずつしくなり、村の原っぱには相撲やラグビーをして遊ぶ子どもたちの姿が見られます。大きくなったら国外でスポーツ選手として活躍することを夢見ている子もいるかもしれませんね。

もっと 知りたい！



みなみ しま せんぜん 南の島に戦前の日本の記憶が

今回は、トンガの近くミクロネシアでボランティア活動をしている青年海外協力隊員、上田裕之さん（写真前列左端）の報告です。



わたしはミクロネシアのポンペイ島で幼稚園の先生をしています。ポンペイ語がじょうずに話せないので、子どもたちと心で話ができるようにしています。今は八十四歳のおじいさん（写真前列右から二人目）といっしょにくらしています。おじいさんは日本語がとても上手です。それは第二次世界大戦が終わるまで日本がこの国を統治していたからです。太平洋の島々は、日本軍とアメリカ軍の激戦地でもありました。おじいさんは「ラッパが鳴ったら集合して、かけ足始めの合図で校庭を走るんだ。ラジオ体操もしたぞ」と、小学生時代のことを話してくださいます。おじいさんと話していると、昔の日本へタイムマシンに乗っていったような気分になります。

島の人々とともにくらし、子どもたちにとって大切なことをいっしょに考え、行動していきたいと考える毎日です。

みなみたいへいよう みりょく はっけん アジア・南太平洋の魅力を発見!

はなし ちい みずうみ ふん
カザフスタンのお話～小さくなる湖、40年で4分の1～
こんかいたび くに たいりく ちゅうおう
今回旅する国は、ユーラシア大陸のほぼ中央にあるカザフstan。かつてはソ連という国の一員でしたが、一九九一年に独立しました。この国で今問題になっている水の問題を見ていきましょう。

今月のテーマ	
1時間目	モンゴルのお話
2時間目	トンガのお話
3時間目	カザフstanのお話
4時間目	グルジアのお話

広い国土は世界9位

カザフstanの面積は日本の約七倍。世界で九番目に大きい国で、カスピ海やアラル海に面しています。
おおずもうせかい
大相撲の世界では、カザフstanの出身の力士もいますよ。しこ名は「風斧山」。「かざふざん」と読みます。



アラル海の危機 原因は人間

アラル海は、カザフstanとウズベキstanにまたがっている大きな湖。水には塩分がふくまれています。このあたりは、雨が少ない乾燥地帯です。
一九六〇年代、乾燥している土地にアラル海にそそぐ二つの川から水を引いて緑の大地に変える大規模な工事が行われました。ところが、このことによってアラル海の水が少なくなってしまった。湖の一部までもが砂漠になりました。一九八九年ごろには、小アラル海と大アラル海に分かれてしまいました。
一九六二年ごろのアラル海の面積は約六万八千平方キロで、琵琶湖の約百倍。ところが二〇〇四年には約一万七千平方キロと、約四十年で四分の一になってしまったのです。

再生計画を日本もお手伝い

アラル海が小さくなっこことで、さまざまな影響が出ました。
①湖にふくまれている塩分の濃度が高くなり、魚が死んでしまった。
②塩分を多くふくんだ土地では、農作物も育たない。
③人々の飲み水も、塩からくて飲めなくなる。

その結果、周辺に人間が住めなくなりました。

カザフstan政府は、小アラル海だけでも再生させようと、二〇〇五年にコカラル・ダムを造りました。この結果、小アラル海の水は増え始め、塩分の濃度も下がりつつあります。
日本の研究者も現地の人々と協力して、砂漠になった土地に植物を植える取り組みを行っています。住民がよりよい環境で生活ができるように、お手伝いしている日本人もいるのです。

カザフstan

人口 1540万人
首都 アスタナ
言語 カザフ語、ロシア語
面積 272万平方キロ
(日本の約7倍)



さが探ししてみよう

地図帳で探して、カザフstanに色をぬりましょう。



もっと 知りたい!



インドの神話にも出てくるスポーツ

カザフstanをはなれて、次はアジアの南インドに行ってみましょう。今回紹介するのは、インドから始まり南西アジアで広がっているカバディというスポーツです(写真は日本カバディ協会提供)。

ドッジボールよりも少し小さいコートで五~七人ずつのチームが対戦。攻撃のときは、「カバディ、カバディ」と一息で言い続けながら、相手のコートに入ります。敵にタッチして、無事に自分のコートにもどってこられたら、点が入ります。「カバディ」というときに息継ぎしたり、相手につかまつたりすると、攻撃と守備が変わります。

カバディには数千年もの伝統があり、インドの神話にも登場するそうです。心と体の調和をとても大事にするスポーツで、ヨガの一つともされています。道具を使わず、選手は体をきたえます。

ただ、今のインドではクリケット、野球、テニスなどの新しいスポーツの人気が高まっていて、カバディをする人は減っているそうです。

みなみたいへいよう みりょく はっけん アジア・南太平洋の魅力を発見!

はなし し ぜん ゆた ち ほう
グルジアのお話～自然が豊かなコーカサス地方～
ごん かい たび くに にし みなみ
今回、旅する国は、日本のずっと西、ロシアの南にあるグル
ジア。大相撲の黒海闘の出身国です。

今月のテーマ	
1時間目	モンゴルのお話
2時間目	トンガのお話
3時間目	カザフスタンのお話
4時間目	グルジアのお話

こっかい めん はっしゅう ち 黒海に面したワイン発祥の地?

日本からずっと西に進むと、カスピ海という世界一大きな湖があります。さらに進むとあるのが、黒海。グルジアはこの海に面した国です。黒海闘のしこなも、ここからつきました。
カスピ海と黒海に囲まれた地域は、「コーカサス」と呼ばれます。この地方は自然が豊か。グルジアでは、約八千年前からワインが作られており、ワイン発祥の地ではないかと考えられています。



さるの練習をするグルジアの子どもたち

じゅうどう からて にんき 柔道や空手が人気アチヨー!

グルジアには、柔道や空手を練習している人がたくさんいます。黒海闘は、グルジアでは有名なレスリングの選手でした。もちろん相撲も人気。グルジアの人たちもテレビ番組などを見て、黒海闘の活躍をよく知っています。

かな れき し の こ 悲しい歴史を乗り越えて

グルジアは一九九一年に独立するまで、今のロシアや周辺の国々とともにソ連という国の中にありました。独立したばかりのころは、物の値段が一年間で何十倍にも上がったり、異なる民族が争ったりと、大変な苦労をしてきました。

グルジアは今、新しい国づくりのために努力しています。日本もグルジアの公務員を育てる手伝いをしたり、生活に必要な電気をつくる発電所をなおしたりと、協力しています。

さが 探してみよう

ち ざらよう さが 地図帳で探して、グルジアに色をぬりましょう。



もっと し 知りたい!



みんなでいっしょにナマステ体操

みなみたいへいようへん さい ご おとず くに たいそう じゅん しょ
アジア・南太平洋編で最後に訪れる国は、ネパール。この国で人気の「ナマステ体操」(写真)を紹介します。

ネパールには、日本のラジオ体操のように国民的な体操がありませんでした。JICAのシニア海外ボランティア(保健体育分野)として、二〇〇四年春からネパールに派遣された酒井直之さんは、ネパールの人といっしょにナマステ体操を考えました。

体操の前には、両手を胸の前で合わせ、みんなで「ナマステ！」。ネパール語で「こんにちは」という意味です。体操のねじったり、そらしたりしながら全体の筋肉をのばし、ときにはヨガの動きもします。ダンスが上手なヒンドゥー教のシバ神の踊りのポーズなどもとり入れられています。

体操は、ネパールのラジオやテレビでも放送。体操がもっと広まるようにと、ネパールの人たちが委員会を作って、体操する学校を増やそうとしています。